



宝塚市長
山崎晴恵

THE RAMPAGE
武知海青



昨年10月に宝塚市大使に就任したTHE RAMPAGEの武知海青さんと山崎市長が対談!

宝塚で育った幼少期の思い出や、夢に向かって挑戦する心構え、宝塚の子どもたちに向けたメッセージなどを語っていただきました(文中敬称略)。



新春特別対談

まずは2024年を振り返って

武知 グループとしては、アリーナツアーや東京ドームでの公演を行いました。その他にも海外での活動や東京を拠点に多方面で活動させていただき、2024年が勝負の年になったな、という印象がすごく大きいです。「必ず次の年につながる一年にしよう」というのがグループの抱負だったので、それが達成できたとと思います。

市長 本当に多方面で活躍された、激動の一年でしたね。プロレスにも挑戦されたとか。

武知 はい。プロレスは2024年2月にデビューしました。個人的な活動ではありますが、グループとしても個人としても、一歩前に進んだというか。所属会社である(株)LDH JAPAN(以下、LDH)の所属アーティストの中でも、「スポーツといえば海青だよ」と言ってもらえるくらい、自分がスポーツに注力していることが浸透してきているので、もともと皆さんに知っていただけじゃない、これからも頑張りたいです。



幼い頃は
どんなお子さんでしたか?

武知 市内のスイミングスクールで水泳を習っていて、スクールの全国大会に関西代表で出場し、メドレーリレーで優勝したこともあります。小学4年生のときには、念願のジュニアオリンピックに出場しました。

僕はもともと内気なタイプで、勝負が好きなタイプではなかったんです。けど小さい頃からダンスコンテストや水泳の大会に出る中で、負けた時の悔しさや勝った時のうれしさなどを経験していきましました。負けた時はしんどいし、勝った時



市内スイミングスクールでの練習の様子

はうれしい。それだったら勝ちたいな、どうしたら負けられないようになるのかな、と考えるようになり、負けず嫌いになっていったのかなと思います。

市長 お話を聞いていると、勝負の結果だけを求めるのではなく、次につなげる分析を自身でされている。それがすごいなと思います。

武知 ありがとうございます。相手がいないと勝ちも負けも存在しないので、対戦相手に敬意を払って、その上で正々堂々と勝負する。ずっとその気持ちです。

THE RAMPAGEのメンバーになった経緯は？

武知 2014年4月にEXILEの

パフォーマンスオーディションに参加し、最終選考まで残ったんですが落ちてしまった。その時、(LDH社長の)HIROさんが、新しいグループを作るので参加しないか、と誘ってくださり、オーディションを経て正式メンバーになりました。

正式メンバーになってからも下積み時代は先輩グループのサポートダンサーや裏方もしていました。でもそのおかげで、いろんな経験をさせていただきました。裏方のお仕事や大変さを知らないまま舞台上に立つと表現が雑になってしまうと思うので、そうならないよう裏方の思いを踏まえて表現することを心がけています。ステージには僕一人で立ったのではなく、スタッフさんたちのおかげで立てているので、常にそれを忘れないようにしたいです。

市長 多くのスタッフ、みんなのことを思っただけで立ってらっしゃるのが分かるので、すてきなと感じました。ファンの皆さんも武知さんのそういう誠実さを感じているんだと思います。

自己表現や、自信を持つために大切なことは？

武知 チャレンジ精神はすごく大切だと思っています。物事を始めると、どうしても成功するかしないかで判断してしま

う。「成功しない」を経験すると、それがどんどんコンプレックスになってしまうとありますが、「成長するかしないか」で考えると、必ず成長していると思える。「成功する・しない」とは関係なく、やってみてほいことがあれば果敢にチャレンジしてほしいなと思います。

あと、自信は、実績や結果があればおのずと付いてくると思っていて、僕の場合はダンス歴が長いことが武器でした。今までやってきたことが自信につながってチャレンジできて、THE RAMPAGEになれたという結果が残った。それを糧にまたチャレンジして結果が残って、前に前に進んでいる。そんな感覚です。

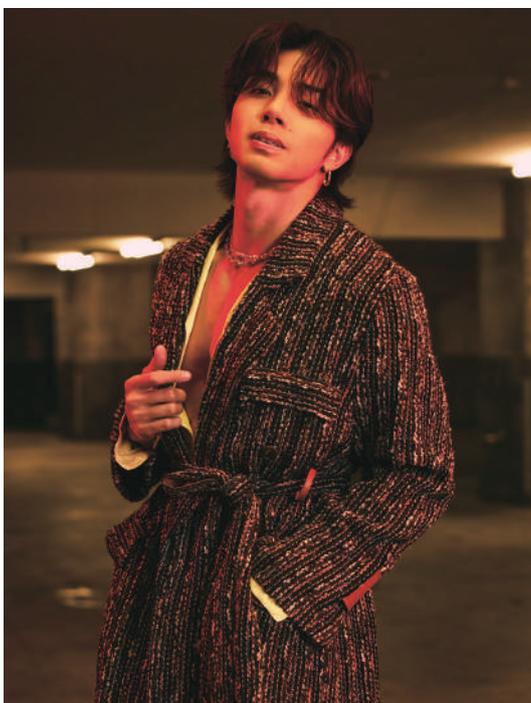
市長 さまざまな経験を糧にして、その経験から次のことを考えて行動されてい

るので、ゆるぎない土台があるような、そんな印象を受けました。

宝塚市では小学5・6年生を対象に、演出家の平田オリザさんによる演劇的手法を使ったワークショップを行っています。しゃべるのが苦手な子はしゃべらない役で参加するなど、ありのままの自分の役で、お互いを認め合おうと。そうすると、みんな解き放たれたように自分を表現できるようになる。そんな授業を取り入れています。

この授業が、武知さんがおっしゃった、表現者へ続く成功体験になったらすてきだと思います。

武知 おもしろいですね。やってみたくて僕はパフォーマンス役で参加して…(笑)
市長 きっとみんな大喜びです！パ



武知 海青(たけち かいせい)

1998年2月4日、宝塚市出身。(株)LDH JAPAN所属。2014年、ダンス&ボーカルグループTHE RAMPAGEの正式メンバーとなり、2017年にメジャーデビュー。「最強スポーツ男子頂上決戦2024秋」(TBS)で番組史上初の3連覇を達成。2024年2月にはプロレスデビューも果たし、9月に2戦目のリングに上がった。

フォーマーの生き方、表現の仕方を今の子どもたちにぜひ知ってもらい、ありのままの自分を出してほしいと感じています。

武知 僕は小さいころ本を読むのが苦手で、国語の授業で音読するのがすごく恥ずかしかったです。音読はどうしても決まっているセリフにとらわれてしまいうけど、自分で考えて演じられるのであれば、もっと自分を表現できるような気がする。めっちゃすてきな授業ですね。

市長 こういう授業が行われるよりも前に自分らしさを見つけて、行動されているのがすごいと思います。宝塚の子どもたちも武知さんのようになってほしいです。

市内でお気に入りの場所はありますか？

武知 毎年宝塚に帰りますが、必ず立ち寄るのは母のダンススタジオです。売布神社の駅を出てすぐにあるんですけど、僕にダンスを教えてくれた当時の先生が出迎えてくれて。同じ時期に習っていた生徒たちもいて、アットホームなんですよね。実家に帰ってきたような気持ちになります。近況報告したり、今の状況を逆に教えてもらったり、最近の僕のダンスを見せてご指導いただいたりとか。



帰省時に、ダンススタジオで指導を受ける様子

市長 え!? 武知さんが教えるんじゃないかって？

武知 はい。今でも教えてもらうので、僕にとっては必要な時間ですね。また、芸能界に出てダンスでごはんが食べられていくというのは、なかなかないことだと思うので、その素晴らしさを僕を知らない世代の人たちにも伝えられたらと思っています。

2025年の抱負を聞かせてください

武知 2024年は0を1にする年だったなと思っていて。いろんな無理や、不可能を可能にしてきた年だったので、2025年は1を100にでも、

1000にでも、はたまた2になってしまいかもしれないですけど、可能性をどんどん広げていけるような年にしたいなと思います。

宝塚の子どもたちに一言

武知 子どもの時っていろんなことを考えると思います。昨日考えていなかったことを今日急に思いついたり。それはとても大切なことだと思います。そういう、自分が思うやりたいことに素直に挑戦したり、友だちや先生を大切にしながら、いろんなことに感謝して精いっぱい生きる。そうしていると、きつと、やりたいことや夢がおのずと向こうから近づいてくると思うので、無理しなくていいと思います。今を思う存分楽しんで、がむ



しやらに生きてほしいです。

市長 夢や目標が向こうから近づいてきてくれるよ、というのがすてきですね。経験からの言葉ですね。

宝塚の子どもたちが、武知さんに続いて力を発揮し、自分の望む道へ土台を固めながら着実に進んでいけるような教育を進めていきたいと改めて感じました。今日は本当にありがとうございました！

子どもたちの健やかな成長を目指して

本市では、武知さんも興味を持たれた「演劇的手法を活用したワークショップ」をはじめ、子どもたちが健やかに育ち、のびのびと自分らしく成長できるよう、さまざまな子ども・子育て施策に取り組んでいます。詳細は市HPをご覧ください。

対談全文はwebで公開

市公式noteでは、広報誌に載せきれなかった話題や写真も掲載しています。ぜひご覧ください。



市公式note



市HP